

ふるさと歴史散歩

〔第168回〕松崎八幡宮址 その十

神武即位年が紀元前660年、辛酉であるところのようにして決定したのだろうか。それには次のような根拠があった。

明治の著名な歴史学者で、東洋史学に通じていた那珂通世教授（東京高等師範学校）は、中国古代の漢代以降に始まった辛酉の年の21年度目（60干支×21回＝1260年）に天命が改まると云う「辛酉革命説」を根拠に、推古朝九年の辛酉の年（601年）から1260年ほど遡った辛酉年、紀元前660年が神武天皇即位年とする説を立てた。

この那珂説は、当時の学界で受け入れられて学説となった。さらに、そこから数えて西暦1940年（昭和15年）が、神武天皇が橿原で即位して2600年に当たることから、国を挙げての規模で奉祝行事が挙行された。面白いのは、那珂氏自身、神武天皇は実在の人と考えていたが、肝心の即位年を紀元前七世紀と

するのは誤りとし、紀元前後なら大体合っているとも論じていることだ。いずれにしても、弥生時代の真最中のことで国家と呼べるような広範な政治的権力は、まだ誕生していない。

紀元二千六百年奉祝行事について述べる。昭和10年、内閣に「紀元二千六百年祝典準備委員会」が作られ、翌年、祝典事務局が設置された。準備委員会は、その後「祝典評議委員会」と改称され、これが神武天皇聖蹟の調査と保存事業ほか6事業を計画した。各事業は、「紀元二千六百年奉祝会」が国庫補助金を受けて実施したが、そのうち、調査と顕彰事業については、奉祝会の委嘱を受けて文部省が実施した。長福寺の裏手の山に現存する神武天皇埃宮多祁理宮顕彰碑は、この事業によるものである。

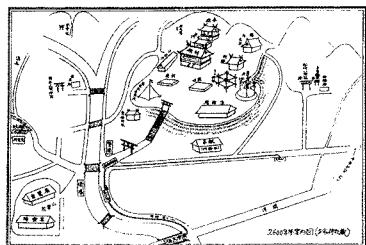
この調査・顕彰事業は、文部省宗教局保存課が担当し、



関係府県に調査を通達した。広島県でも広島文理大の教授を筆頭に、各界の関係者を動員して神武天皇聖蹟の調査を県北の比婆郡高野山村から江田島や蒲刈島などの島しょ部に至るまで行い、各地から「これもあれも神武天皇に関係した祠である」と山奥の小さな祠を含めると約60カ所が報告された。

神武天皇ブームに乗った便乗組もかなりあったようだ。

その証拠に、戦後には神武の「じ」の字もいわれなくなった。



（紀元二千六百年祭案内図）

府中町文化財保護審議会会長

横田 禎昭

消費生活相談

巧妙なだましの手口／劇場型勧誘

相談内容



消費生活センターの職員を名乗る人物から「あなたの個人情報情報が漏れているので削除している。震災ボランティア団体だけは代わりの人を見つけないと削除できない」と電話があった。

その団体に電話をすると「入会希望者に名義変更すればよい」と言われ、私の個人番号を教えてもらった。

その後、入会希望者という人物から電話があり、個人番号を伝えた。すると、再度団体から電話があり「個人番号を他人に伝えるのは犯罪。逮捕される可能性がある。後ほど弁護士から電話させる」と言われた。

怪しいと思うがどうしたらよいか。（70代 女性）

アドバイス



公的機関の名前をかたり、個人情報削除をもちかけて、最終的にさまざまな名目で金

金を要求する「劇場型勧誘」の手口であることを説明しました。

今後も同様の電話がかかってくる可能性があるため、常時留守番電話に設定し、怪しい電話には出ないように助言しました。

劇場型勧誘は、複数の登場人物が役回りを分担し、巧妙な手口でお金をだましとろうとしてきます。一度お金を支払ってしまうと、取り戻すことは困難です。

少しでもおかしいと思ったら、困ったりしたときは、府中町消費生活相談コーナーに相談してください。



消費生活相談員による相談コーナー

町民生活課（役場4階）
☎286-3128
月～金曜日
午前9時～正午
午後1時～4時